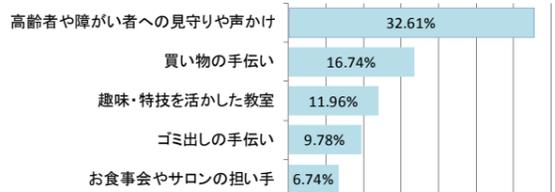


地域で出来ることは？



(参考文献：三芳町地域福祉活動計画)

無作為抽出(20～60歳代)で行ったアンケートの結果(実施は平成22年)。一番多い回答は見守り・声掛けといった結果に。

身近な地域で支え合う「共助」の必要性

町にはいろいろな人が暮らしています。ひとり暮らしの高齢者や介護を必要とする人とその家族、育児に奮闘するお母さん、病気や障がいにより支援を必要とする人たちなど多岐にわたります。町で暮らす人たちが安心して生活するためには、行政や社会福祉施設・機関のサービスなどの「公助」だけでなく、身近な地域の中で支え合う取り組みと仕組み、「共助」が必要とされています。町内で地域住民が見守り合い、身



01 住民主体の活動を

支え合うココロ

高齢者の余暇の過ごし方、ひとり暮らしの見守りなど、地域が抱える問題を解決するヒントは、「共助」や「ボランティア」にあるかもしれません。

近な場所での集まりや住民同士が交流できる場所があり、地域活動やボランティア活動を通じて、自分の役割を見出し出している人たちがこの町には、たくさんいることを、皆さんご存知でしょうか。

東日本大震災発生の後、よく耳にした「ボランティア」。その形は様々で、ひよっとしたら皆さんが考えているものと、違うかもしれません。

町内で地域活動やボランティア活動などを行っている人たちを通じて、町にあふれる「ココロ」に触れてみませんか。

住民の笑顔や感謝の言葉が生きる活力に

「今まで数々の困難なケースがあっても、いやになったことはありません。いつも仕事が楽しいと思いつながらっています。」と話してくれた古賀さん。住民の皆さんの笑顔や感謝の言葉で、つらい時も苦しい時も、乗り越えていけるそうです。

「多くのボランティア活動をサポートしていますが、意見が食い違い、時には言い合いになってしまつたこともあります。しかし、「本気で考え、お互いが理解し合えるから、本当に意味のある活動を続けていくことができるのではないのでしょうか。本気だから、サポートしてい



古賀 和美さん

社会福祉協議会に勤務して14年。地域活動やボランティアのサポートに尽力している。

ワクワク楽しくなる町にしたい

地域活動やボランティアをサポートする立場からの声

「人から『楽しい』という言葉がかけられると、涙が出るほど嬉しいんです。」

その古賀さんに地域活動、ボランティアについて聞いてみました。

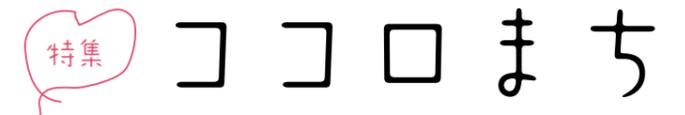
「困っている人たちがいるから、助け合っていかなければ」と固い考えをするのではなく、もっと単純にあいさつをしたり、声をかけたりすることだけでもいいんです。そうしたら人と人の繋がりをもち、地域活動になったり、ボランティア活動になるのだと思います。」

人との繋がりの大切さを肌で感じてきた古賀さん。最後に今後の展望を聞いてみました。

「繋がりがどんどん広がれば、生きることがもっと楽しくなると思います。今日という一日が楽しいと思えるように、人との繋がりを大切にしてほしいです。その繋がりをみんなで作っていくことで、ワクワク楽しくなる町になると思います。」

私たちの暮らすまち、みよし。生まれたばかりの赤ちゃん、ひとり暮らしのお年寄り、障がいをもつ人、老若男女いろいろな人がいます。今回のテーマは「ココロ」。まちを支える温かいココロに触れてみませんか。

あなたが嬉しいとわたしも嬉しい



写真：取材の協力をしていただいた皆さんに、ココロを手で表現してもらいました